

定例記者会見（令和6年3月18日（月）12：00）会見場所：市政記者クラブ

1. 下関市職員採用試験で「しもチャレ」枠を始めます

（総務部職員課）

本日の定例記者会見は、総務部から2件となります。

1件目は、令和6年度下関市職員採用試験において新たに始める「しもチャレ」枠についてお知らせします。

「しもチャレ」枠とは、「しものせきチャレンジ」枠の略称で、通常の試験日程より先行して実施する試験枠になります。

試験時期を民間企業の就職活動の時期に近づけ、内容もより負担感の少ないものとする事で、より幅広く優秀な人材をいち早く求めようとするものです。

1次試験は、エントリーシートの提出と、民間企業でも採用されている基礎能力試験を実施します。

日程は、1次試験を4月20日（土）から4月29日（月）までの間とし、会場は、指定されたテストセンターでの受験となります。

また、2次試験は5月18日（土）、19日（日）を予定しており、6月上旬には合格発表を行う予定としています。

なお、従来型の試験区分も資料のとおり実施する予定です。

就職活動中の皆さんをはじめ、本市の受験を考えている方には、是非「しもチャレ」枠を活用し、チャレンジして頂きたいと思います。

この件については、以上です。

2. 公立大学法人下関市立大学理事長予定者について

(総務部総務課)

続きまして、公立大学法人下関市立大学理事長の交代について、お知らせいたします。

下関市立大学については、いよいよ、来月にはデータサイエンス学部が開設となり、新しい学び舎に志を持った入学生を迎え入れることとなります。皆さんもご承知のとおり、この度、志願倍率も全国でトップクラスとなるなど、全国から注目され、大学の評価も一気に向上したのではないかと自負しています。

一方で急速な少子化により、近い将来、地方大学の経営は厳しくなることが予測されています。そうした中、令和7年度から始まる「第4期中期目標」の具体的な取組を定める「中期計画」を市立大学において令和6年度中に策定することとなります。その新たな計画のもと、舵取り役として、また、総合大学としてのスタートを切るため、昨年11月頃から新たな理事長の人選を進めました。その結果、三木 潤一 氏を新・理事長として、令和6年4月に任命することとしました。

現・理事長 山村氏においては、4年の任期を満了し、これまで5年間の長きに渡り、大学改革や総合大学化の推進に向け、大変ご尽力をいただきました。

長年に渡るご功績とご功労に対し、心より敬意を表し、感謝申し上げますとともに、これからの益々のご活躍を祈念しているところです。また、この度の新・理事長選任にあたっては、現・理事長ともしっかりと話をし、後任に役割を託していただく時機を捉えての交代ということで、了解をいただきました。

新・理事長には、現・理事長の取組を継承しつつ、地域に貢献する大学として発展すべく、遺憾なくリーダーシップを発揮されることを期待しています。

本日の記者会見は以上です。